

No.63 熊 広報

平成 30 年 12 月 15 日
熊地区広報発行委員会
発行責任者
熊地区長 伊藤 誠
公民館長 鈴木 眞一

第二十三回熊地区文化展

熊地区長 伊藤 誠



地区長の挨拶

熊地区文化展を十一月三日（土）と四日（日）の二日間に開催いたしました。初日は天気恵まれて約二百五十名の方に、二日目は残念ながら雨に降られ

ましたが、約百六十名の方に来館していただきました。

刈谷市長の竹中良則様をはじめ、国会・県議会・市議会の議員の方々、また泉田・西部地区の役員様、織機ボランティアセンターの方も来館いただきました。

一階では、盆栽が正面に出迎え、南側の壁には、数々の自慢作である写真が展示され、華やかで見えたえ十分でありました。隣は、郷土史研究会による「土井家旧氏族絵図」を超パワーを使った大きな紙に鳥瞰図のような絵を展示していました。

北側の壁には見事な一閑ばりのグループによる二十一名の作品が並んでいました。子ども会の習字と絵画もたくさん出して

いただきました。幼児、一・二年生が頑張っています。

婦人会の「ハーバリウム」はブームになっているそうです。いつまでも生けた時の状態でそのまま保存されます。



野菜の販売

ディスプレイしたままの人たちが作品を出してくれました。ありがたいことです。手芸工芸がある中で、飛騨古川の起し太鼓を想像できる大作がありました。五円玉を多く使った重量のある作品になっていました。一階は生け花の展示があり、若葉会と子ども会の力作二十作品です。

抹茶の接待では、小さな女の子が参加して張りきっていました。今年は男の子も参加し、とても良い経験をしたことでしょう。

屋外では、今年の新作中万燈と子ども万燈の展示がありましたが、二日目の雨の予想で一日間だけの展示になりました。

野菜の販売は大盛況でした。趣味の会の小物の販売、バルーンアート、竹鉄砲と、風車も人気でした。

婦人会のみなさんが焼いてくれただんごは、とてもおいしかったです。刈谷市赤十字奉仕団と熊なでしこ会の豚汁、柿、コーヒールのおもてなしは、とても好評でした。多くの出品者、来館者に恵まれ、良き文化展を終了できたことに感謝します。

お抹茶の作法

かきつばた会 重野 知江子

熊地区文化展において、毎年子ども会の役員と子どもたちが呈茶（ていちゃ）を手伝いに来てくれます。



子ども会の呈茶風景

子どもたちが最初に身につける作法は、「お客様への挨拶」「お菓子の運び方」「静かに歩くこと」「お茶の運び方」、そして人と人のすれちがいに注意することです。これらのことを覚えて、おもてなしの作法ができるようになります。

子ども会の役員の方には、お皿にまんじゅうを盛りつけたり、抹茶のお茶碗を洗ったりなど、協力をお願いしています。

私たち「かきつばた会」も十年以上、来館された方々にお茶を差し上げています。

お抹茶の作法の師匠である杉浦先生とともに文化展での呈茶をこれからも続けていきたいと思っています。



呈茶風景



お抹茶の準備

熊さん「一閑ばり」

熊さん代表 豊川 徳子

熊地区文化展に出展させていただき、十年あまりになります。

「一閑ばり」とは、「一閑張り」「二貫貼り」とも称されています。

歴史は古く、中国の明の時代に渡来した飛来一閑（ひきいっかん）により伝えられたとされています。

一閑ばりは、竹か、板等に下地の和紙を貼り重ね、さら

に上貼りしたものです。仕

上げに柿渋（かきしぼ）でコーティングして、

艶だしと耐久性を高め

ます。柿渋は、現在天

然塗料・天然染料として注目されてい

時間と共にゆつくり発色しますので、じ

つくり時間をかけて楽しむことができ

ます。素朴な温かみのある触れ合いが好

まれるところです。また、壊れたら補修

もできます。

NHK総合テレビ「樹木希林を生きる」という番組内で希林さんが一閑ばりの「てさげかこ」を愛用されている姿が映し出され、うれしく思

います。

興味のある方は、市民館学習室にて月三回教室がありますので、ぜひ覗いてみてください。さらに参加されれば、みんなで大歓迎します。



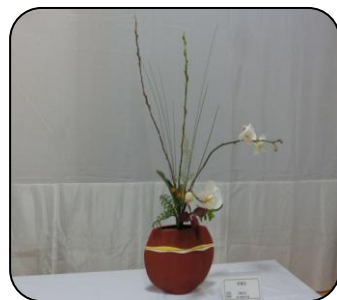
展示風景



製作風景



作品介绍



私は一年生からすもう大会に出ているけど、四、五年生ではずっと三位で少しくやしかったんです。でも六年生になって、すもう大会の練習で、先生がいろいろ教えてくれました。それで、三位だったのが、最後のすもう大会で見事に二位になれてすごうれしかったです。

これも先生やいろいろな人のおかげだと思います。

またがんばりたいけれど、来年は中学生なので、ほかのすもう大会にでる人たちを応援したいです。



すもう大会

悔いのないすもう大会

六年 島口 加帆

れど、学校でやるよりもずいぶん楽しかったです。



お茶運び

亀城小学校でも、お茶を運んだりする気ができました。

私も、くま地区文化展のお茶運びのお手伝いをしました。私は、一対一の会話や知らない人との話などが苦手だったので、お茶運びはやりたくありませんでした。

でも、やってみたらとても楽しくて、お客さんが来るのを今か今かと待っていました。

良い体験だったお茶運び

五年 野呂 侑花

恒例のみたらしだんごを販売。焼き加減の難しさに悪戦苦闘。こんがり焼けたみたらしだんごをおいしくうにほおぶる姿にいやされました。二日目はあいにくの天気でしたが、おかげさまで二千本を完売できました。

ありがとうございました。

これからも地域の方々と共に、熊地区を盛り上げていくお手伝いができるよう活動していきたいと思っています。



みたらしだんごの販売



ハーバリウム作品

ハーバリウムは色鮮やかなドライフラワーなどをビンに詰めたインテリアです。みんな真剣なまなざしで、夢中になって作成し、個性あふれる作品ができあがりました。展示にも工夫を凝らし、華やかな空間を作ることができました。

婦人会からのお知らせ

婦人会広報委員 尾田由美子

秋晴れの良い天気に恵まれ、文化展は開場と同時にたくさんの方が来館されました。

婦人会はハーバリウムを出展しました。ハーバリウムは色鮮やかなドライフラワー

子ども会すもう大会 二連覇

熊公民館 広報 三浦巳好

十一月三日、アイシン精機㈱様体育館で、刈谷市子ども会第四十七回すもう大会が行われました。

小学一年生から六年生まで熊地区からは、男女十五名の児童が参加し、熱戦を繰り広げました。

低学年の児童も、一生懸命にぶつかり合い、勝つては両手を突き上げて喜び、負けては涙をこらえながら歯を食いしばって、観ている頬が緩む想いでした。

また、体の小さい子が大きな子を倒したり、女の子が男の子に勝つたりして見たえのある大会でした。

大会は、個人戦から始まり、女子は優勝から三位まで(三位は二名)の四名を熊チームが独占しました。続いて、団体戦では、熊BチームとCチームが三位に、熊Aチームが昨年に続き、二連覇を果たしました。熊地区文化展では、子ども会至リアに優勝旗を展示しました。



熊子ども会の選手たち

来年もこの笑顔が見られるようにがんばりましょう。子ども会の役員の方や、チームの監督・世話役の方々ありがとうございました。

熊老壮会だより

熊老壮会 広報 林 吉良

○ 10月10日 熊野神社大祭準備

・ 熊野神社清掃活動 13名参加

○ 10月28日 秋の530運動

・ 地区委員、公民館の役員と一緒に熊地区美化に寄与

○ 10月31日 刈谷市いきいきクラブ

・ 秋の歩け歩け大会
・ 14名参加(刈谷市内から八〇〇名が参加し行われました。)

○ 11月3・4日 熊地区文化展

・ 写真同好会の作品など多数出展

○ 11月13日 簡易健康度評価

・ 3名参加

○ 11月28・29日 親睦旅行

・ 39名参加一泊2日の旅

大鳴門橋から見下ろす庄巻の渦、迫力に圧倒された楽しい旅行でした。

○ 12月4日 年末の交通安全活動

○ 12月13日 カラオケ大会 1名参加

・ 市民交流センターにて開催されました。

◎ 12月22日熊老壮会忘年会が開催されました。



大鳴門橋前にて

余興も色々用意しています。今年は災害の多い年でしたが、災害に負けず平成最後の年に皆で楽しみましょう。多数の参加をお待ちしています。

熊野神社だより

○ 秋の大祭(本厄)を終えて

熊巳午会 野々山 一樹

10月14日、前夜から降っていた雨も明け方にはあがり、大祭(本厄)行事の「厄払い式」「餅投げ」を無事に、終えることができました。

今年の本厄は私一人。介護事業をしていることもあつて、なかなか時間の取れない中、総代会をはじめ、多くの皆様のご協力のおかげをもちまして、大役を果たすことができました。

心より感謝申し上げます。



餅投げ

参加いただきました方がとうとうございました。

餅投げで投げられる餅は厄餅と呼ばれるますが、この餅には、福があるのとされています。その福があるのとされている餅とされている餅を、地域の安全と、ご参加いただいた方々のご多幸を祈念しながら投げさせていたいただきました。今後とも地域の皆様からいただいた、ご恩をお返しできるよう努力してまいりますので、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

○ 熊野神社氏子総代会より

初詣は熊野神社にご家族揃ってお出かけください。お待ちしております。

年末年始には巫女さんの舞もあります。

土井家旧土族略図(絵図)

熊郷土史研究会 会長 三浦 洋治

私は熊村の絵図を探していましたが見つかりませんでした。それなら、自分で描いてみようと思い、刈谷頌和会会員の方にアドバイスを受け、調査をしました。

手に入れた標題の略図をもとに五月より作成を始めました。この略図に描かれている名前(旧土族)を分限帳より役職、禄高(ろくたか)を調べました。

絵を描く才能はないのですが役職に応じた屋敷、屋敷門を描いてみました。

刈谷藩は、二万三千石の城下町であり幕末の土井家の藩士は三百五十七人でした。そのうち百十六人の藩士が熊村にいました。この絵図の地理的基準になるのは、熊野神社の位置、竹中馬之助、重野十三、石川岩三郎、熊木彦臣、河目源吾、深津規矩馬、牧半蔵の屋敷跡から現在の道路と、熊郷土史研究会の諸先輩が名付けた『熊の古道』です。

本屋敷、北屋敷、前屋敷と言われていた地名からも当時を想いおこしてください。私がこの絵図を描いた目的は、熊地区の子どもたちに多くの藩士がいたことを知ってほしいと思ったからです。

私はこの絵図を、イラストレーターの妹尾河童の鳥瞰図のような絵を描きたいと思ひ、描いてみました。皆様の、ご感想はいかがですか。

熊地区防災のお知らせ

自主防災会 副会長 近藤 輝和

平成 28 年 11 月 15 日に、「熊地区防災のお知らせ」として第 1 号を発行してから丸 2 年。防災会事務局と五つの部が分担して、ひと月に 1 回、15 日の日に発行しています。

○ 19 号 6 月 15 日 防火消火部

・ エアゾール式簡易消火具使用方法

○ 20 号 7 月 15 日 給食給水部

・ ハイゼックスによる炊き出し

○ 21 号 8 月 15 日 防災会事務局

・ ブロック塀の危険性について

○ 22 号 9 月 15 日 救出救護部

・ 高齢者・障がいのある方を支援しよう

○ 23 号 10 月 15 日 避難誘導部

・ 風水害に備え避難するときは

○ 24 号 11 月 15 日 情報部

・ やってみよう……用足しを

今後毎月 1 回のペースで発行していきますので、防災ファイルに保存し、有効に活用してください。

◎ こんなことを知らせてほしい。

◎ 今、こんな疑問をもっている。

◎ ある号を紛失してしまった。

(尚、今年 11 月 15 日発行が 24 号です。) などありましたら、防災会の役員に気軽に声をかけていただけますとありがたいです。皆さんの声を生かしながら、「防災のお知らせ」をより充実していけたらと考えています。

いつか来る南海トラフ巨大地震に備え、「防災のお知らせ」がその一助となれば幸いです。

青少年育成地域推進員の活動

青少年育成市民運動

地域推進員 高橋 博良

刈谷市は、家庭と地域の教育機能の充実を図り、青少年の健全育成に努めるために家庭教育啓発指導事業を実施しています。そして、この事業の推進に協力しているのが青少年育成市民運動地域推進員です。

青少年育成市民運動地域推進員は、公民館長の推薦により、市教育委員会が委託し、各地区で公民館や学校と連絡を取りながら、青少年の健全育成に努めています。

具体的には、年三回の青少年育成推進連絡会議での話し合い等を経て、地区での活動を推進しています。

刈谷市保健推進だより

刈谷市保険推進委員 浅川 久美子

私たち保健推進委員は、市民の健康づくりのため、運動教室・栄養教室・歩け歩け運動と 3 つの活動に分かれて企画しております。

運動教室は、中部市民館にて毎月第 1 火曜日午前に、3B・リズム体操を実施しております。

歩け歩け運動は、「ごん秋まつりと彼岸花」を企画しました。

栄養教室では、「免疫力アップで一〇〇まで元氣〜NK細胞を活性化させよう〜」をテーマに掲げ、食の献立を企画しております。

地域みんなで楽しみながら健康づくりに参加しましょう。

安全パトロール隊

安全パトロール隊 隊長 井上 直之

『みんなの目で

安心・安全な町づくりを！』

日頃は、安心・安全な町づくりに協力いただき感謝申し上げます。

現在、パトロール隊員は五十二名で活動しており、夜間・パトロール・青パトカー巡回・一斉下校パトロールを行っていますが、充分とは言えません。

より安心・安全な町にするためには、地域住民が連帯感をもつて町全体を見守る風土づくりの強化が必要です。ご近所同士の声かけにより、みんなで「みんなの顔が見える町づくり」を目指しましょう。

連絡先

井上 直之 TEL 0566-21-1578

熊なでしこ会だより

熊なでしこ会 代表 藤田 政夫

今年も、地域の文化展の十一月三日は晴天に恵まれ開催されました。早朝より多くの方々がお見えになり、活気の中、熊なでしこ会のメンバーも、赤十字奉仕団の方と共に、来場者への豚汁・呈茶(コーヒー・お茶)、デザート柿で、真心と笑顔で、接待をさせていただきました。

四日の二日目は、あいにく雨降りとなり、来客も少なく、豚汁が残るか心配しましたが、すべて振舞うことができました。多くの方々からの「おいしかった。ありがとう。」「言葉をお聞きいただき、これから地域の皆様から慕われる様に、努力していきます。」

熊なでしこ会のスタッフを募集していますので、協力できる方は、是非入会してください。

刈谷市消防団第四分団より

刈谷市消防団第四分団

分団長 池田 裕介

日頃は、消防団活動におきまして熊地区の皆様のご理解、ご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

十月・十一月の活動内容として、十月十四日に熊野神社の秋の大祭の警備をしました。また、十一月四日に刈谷自動車学校にてポンプ車の運転の練習や緊急走行時における走行の訓練を行いました。これには、経験の浅い新人の団員も一生懸命頑張っております。

今後の活動として十二月二十九、三十日に年末夜間特別警戒で地区内を巡回させていただきますのでその際は、ご理解をよろしくお願い致します。

現在、第四分団は定員二十名に対し在籍する団員が八名と非常に少ない人数で頑張っております。在籍する団員は二十代がほとんどで、本職が学生や社会人といった様々な人が集まっており、とても楽しく活動しています。

今後も団員を募集していきますので、自分たちの町は自分たちで一緒に守っていきましょう。

【編集後記】



地区の行事を中心に、広報をお届けしました。原稿を寄せていただいた方々に感謝します。今後とも愛読をお願いするとともに、みなさまのご健康とご多幸をお祈りいたします。

熊広報委員

三浦 巳好

飛田 幹子

近藤 喜春